

2022年4月1日  
74号

# かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所ひたちなか総合病院  
〒312-0057  
ひたちなか市石川町20番1  
TEL 029(354)5111  
発行人 飯嶋和秀  
編集 広報委員会  
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>  
※バックナンバーは当院ホームページに掲載しております。

## ごあいさつ — 地域を護る病院として —

院長 吉井 慎一



新型コロナウイルス感染症は3月には感染者数が減少し、新年度には終息すると期待していた方も多かったと思います。しかし、3回目のワクチン接種の遅れ、新しいオミクロン株の出現もあり、2022年度もこのウイルスとの戦いは続きそうです。

感染力は強いが、重症化するリスクは少ないとされるオミクロン株への対応は、従来のデルタ株対応とは違った難しさがあります。イギリスを中心に欧米諸国では、死者数は日本と比べてはるかに多いにも関わらず、経済活動復興へ舵を切っています。日本でも、死亡例のほとんどが基礎疾患を有する高齢者ではありますが、他の疾患でも死亡しているとの考え方もあるようです。私自身は、コロナ感染に関わらず、そのような人たちを護る役割が医療機関にはあると考えています。本年度も本来の医療を継続しつつ、この感染症診療においても地域に貢献したいと考えています。

さて、多くの方が日本の医療保険制度はご存じだと思いますが、診療報酬改定というのが2年に1回行われているのはご存じでしょうか。保険診療と自由診療との混合診療が認められていない日本では、医療機関による診療行為に対して、全国すべて同じ金額が医療機関に支払われます。厚生労働省は、日本の医療の将来像を大きな視野で考えていると思いますが、この診療報酬改定により多くの医療機関が誘導される側面もあります。

大きな方向性として、かかりつけ医の促進があります。200床以上の地域医療支援病院では、紹介状なしの初診患者に対して、選定療養費として令和2年4月から

5,500円を徴収することが義務付けられました。これが令和4年10月から7,700円以上になります。また、当院から他の医療機関に対して文書による紹介を行う旨の申し出を行ったにも関わらず、紹介先医療機関を受診せず当院を再度受診した場合には、再診に係る費用として徴収義務のあった再診時選定療養費も引き上げられます。この政策は、地域性や患者さんの社会的事情は考慮されておらず、医療機関に義務付けられているものですので、ご理解いただきたいと思います。詳細については病院掲示板に掲載しますのでご覧ください。

もう一つは、入院機能の分化と連携です。日本は同じような機能を持った病院が多くあるのは事実であり、これが人口当たりの病床数が諸外国に比べて極端に多い原因にもなっています。一方で、病院の機能分化と連携が極端に遅れていることが、今回の新型コロナウイルス感染症での医療逼迫で明らかになりました。

当院は302床の中規模病院で、回復期リハビリ病棟の50床を除くと、急性期病床は252床しかありません。この規模の病院としては、全国平均の2倍近くの年間3,500台の救急車を受け入れています。また、多くの診療科の専門医が所属しており、地域における急性期医療の中心を担っていると考えています。しかし、療養病床や地域包括ケア病床の機能は持っておらず、一定の急性期医療が終了した患者さんには退院していただくのが原則となります。今後、地域の病院との連携強化、在宅を支援する訪問診療や訪問看護との連携を通じて、退院後も安心して医療介護が行われるような支援を心掛けていきます。地域の皆様のご理解とご協力がなければ、今後急性期病院として存続の危機となり、当院の理念である「地域を護る病院」としての役割が果たせなくなります。

最後になりますが、厳しい状況ではありますが、「地域を護る病院」として、職員一同頑張っていく所存です。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしく願います。

## ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

4月		5月		6月		7月																							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土									
					1	2	1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11	7	3	4	5	6	7	8	9	
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	6	5	6	7	8	9	10	11	7	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	6	12	13	14	15	16	17	18	7	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	6	19	20	21	22	23	24	25	7	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					6	26	27	28	29	30			7	24	25	26	27	28	29	30

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日



## 麻酔科



麻酔科 岡部 格

麻酔科は直接主治医として診療を行うことがないため、一般の方々にはまだなじみが薄い部署だと思います。麻酔科は主に手術時の麻酔を担当しています。麻酔をしないで手術をすると当然とても辛いですし、暴れてしまっただけでは手元が狂い、安全に手術を行うことができないので、大きな手術の時は麻酔が欠かせません。

2020年度の麻酔科管理手術件数は1,579件で、外科・整形外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・形成外科の手術時の麻酔と検査時の鎮静（小児のMRI・内視鏡検査など）を、3名の常勤医と若干名の非常勤医・研修医で担当しています。新型コロナウイルス感染症の影響を受け手術件数は例年より若干減少しましたが、幸いにして手術室内での新型コロナウイルス感染症の発生は現在のところありません。

鎮痛の方法として、ここ10年くらいの間に急速に普及してきた超音波ガイド下末梢神経ブロックを、当院ではいち早く積極的に取り入れており、2020年度は620件施行しています。末梢神経ブロックにより適切な鎮痛を行うことは、単に手術後の苦痛を軽減するだけでなく、呼吸・血圧に対する副作用の強い鎮静剤の使用量を最小限にすることによって、麻酔の安全性を高めています。リスクの高いケースの麻酔管理の際は特に有用です。

臨床研究にも力を入れています。緊急手術時の誤嚥性肺炎のリスク評価として、胃内容を推定するのに近年注目をされている胃エコーに関する研究での麻酔科領域では、国際的に最も評価の高い雑誌（British Journal of Anaesthesia）に掲載されたものをはじめ、論文を多数発表しています。

今後も常に最新の知識を取り入れていく姿勢を持ち（実際は難しいですが）麻酔の安全性を高め、手術後の苦痛を最小限にするために研鑽を積んでいきたいと考えています。手術は怖い・痛いというイメージを変えて、地域の皆様が安心して治療法として手術を選択できるようになっていければ幸いです。



手術室スタッフ



## 部署紹介 HCU (High Care Unit) 高度治療室

HCU (High Care Unit) は高度治療室として、重症度の高い患者さんのケアをしています。病床は全部で16床あり、多科対応しています。急変時対応に強く、有資格者もたくさん在籍しています。緊張感はありますが、コミュニケーションと笑顔を大切にしている部署です。

HCUの患者さんは、急な入院や侵襲の高い手術後、状態悪化など、大きな変化を経験されます。身体的な苦痛はもちろん、精神的な苦痛は計り知れません。私たちは、その苦痛に寄り添い、必要なケアが提供できるよう心がけています。

これからも、患者さんとそのご家族に寄り添いながら、早期回復に向け、多職種チームで頑張っていきたいと思えます。



HCUスタッフ

## 地域の先生紹介

### 勝田内科・皮膚科クリニック

このたび、勝田皮膚科クリニックに内科診療を加え、勝田内科・皮膚科クリニックとして2021年10月1日にリニューアル開院いたしました。内科診療を担当します柳澤文人と申します。

講師として勤務してまいりました昭和大学病院消化器内科を辞し、これまで培ってきた医療技術や経験をもとに地域医療に少しでも貢献できますよう、一層努力していく所存です。

前病院では内視鏡を専門に行っており、当クリニックでも食道がん・胃がん・大腸がんの早期発見、治療を実践し、一人でも多くのがんで苦しむ人を減らしたいという思いから、鎮静剤を用いた上部および下部内視鏡検査とともに生検やポリープ切除術を施行しています。

また内科医として、急性期疾患から高血圧、高脂血症などの生活習慣病まで幅広い診療を行い、内視鏡のみならず、腹部の超音波検査も併せて実施し、地域の皆様にとって“困った時に最初に相談できる場所”でありたいと考えています。

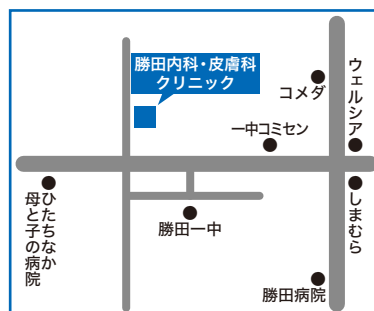
今後、ひたちなか総合病院と連携し地域医療に貢献したいと存じます。

#### 【柳澤 文人 略歴】

昭和大学医学部 卒業  
昭和大学病院 消化器内科  
昭和大学病院 腫瘍内科  
東京都保健医療公社荏原病院 消化器内科  
関東労災病院 消化器内科  
国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 国内留学  
昭和大学病院 消化器内科 講師  
勝田内科・皮膚科クリニック 副院長 兼 理事長  
昭和大学病院 消化器内科 兼任講師



院長 柳澤 宏実 (左)  
副院長兼理事長 柳澤 文人 (右)



ホームページ  
<https://www.katsutanaika.jp>



医療連携に関するお問い合わせは地域医療連携推進センターへ

8:15~16:30 (月曜日~金曜日)

TEL 029-354-5202 (直通)

FAX 029-354-5220 (直通)

## 新型コロナウイルス感染症の検査について

検査技術科 柄澤 宏

新型コロナウイルス感染症の「第6波」では、これまでにないレベルでの感染拡大となり、薬局などでは無料で検査が受けられるようになりました。そこで新型コロナウイルス感染症の検査（PCR検査・抗原定性検査・抗原定量検査）について簡単にまとめてみました。

「PCR検査」は、鼻やのどの奥の粘液や唾液などに含まれるウイルスの遺伝子の一部を増やして検出する検査法です。PCR検査は最も感度（感染している人が陽性と判定される割合）が高いとされていますが、専用の装置が必要であり検体処理の手順が多いため、結果が出るまでに1～3時間程度の時間を要します。また、検査を外部委託した場合は結果報告が翌日、または翌々日になります。

「抗原定性検査」は、専用の装置が不要で「抗原検査キット」を使うことで、検体を採取すれば30分程度で結果がでます。症状がある人が陽性になった場合は確定診断に使うことができますが、ウイルスの量が一定以上ないと感度は低くなるとされ、症状がない人には推奨されていません。ただ、簡便で迅速に結果を知ることができる観点から、感染拡大を防ぐために幅広く検査を行う薬局などの無料検査でも使用されています。

「抗原定量検査」は、ウイルスのたんぱく質を専用の装置で検出する検査法で、検査時間が40分程度と短いのが特徴です。PCR検査と同等の精度とされ、症状がある人でも、無症状の人でも確定診断に使うことができ、当院でも活用しています。

検査の「感度」は、感染してから何日経過したか、採取する検体や採り方によっても変わります。最も高いPCR検査でも70%ほどとされ、残りの30%は感染しているのに陰性と判定（偽陰性）されることとなります。判定結果は検体を採取した時点のものであり、手洗い・うがいやマスクの着用、消毒など感染予防の対策はしっかりと行っていくことが大切です。また、体調や症状に不安なことがあれば、先生に相談し、指示を仰ぐようにしましょう。参考：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第5版）

## 体と心の疲労にご注意を

総合健診センター 山崎 真由美

春になるとさまざまな変化がありますね。気温の上昇に伴い身体面でも、会社などの人間関係で心にもストレスを抱えやすい時期です。「ちょっと疲れたな」と思ったら無理せず、少し立ち止まって心と体に向き合ってみましょう。

疲れを感じたら、まず睡眠時間を見直しましょう。起床時間を遅らせるよりも、就寝時間を早めることをお勧めします。ゆっくり入浴し軽いストレッチをすると、体と心の緊張がほぐれます。睡眠の質を上げるために、就寝前の携帯電話やテレビは控えてください。

食事も大切です。朝食をしっかり食べてエネルギーを補給しましょう。旬の食材は、その季節に必要な栄養素をとることができます。

お休みの日には体を休めることも大切です。音楽を聴く、読みたかった本を読むなど、自分のリラックスできることを見つけましょう。スポーツも良いですが、翌日まで疲れが残らない程度に楽しんでください。

また、明るい色の洋服を着て気分を上げましょう。気温の変化が大きい季節です。外出の際には、暖かなくても上着を1枚持つことや、首・手首・足首は冷やさないように工夫してください。

生活の中で「疲れ」は常についてきます。日頃からご自身の体と心の声に耳を傾けて、早めのケアを心がけましょう。

## ◆◆◆◆ 医師異動の紹介 ◆◆◆◆

診療科	氏名	異動日
内科	猪狩 弘大	退職（2022. 3. 31）
	大西 晶子	退職（2022. 3. 31）
	奥田 紗帆	退職（2022. 3. 31）
	川面 貴彦	退職（2022. 3. 31）
	八田 幸乃	退職（2022. 3. 31）
	小島 丈心	採用（2022. 4. 1）
循環器内科	本田 幸弥	退職（2022. 3. 31）
呼吸器内科	松田 峰史	退職（2022. 3. 31）
	中泉 太佑	採用（2022. 4. 1）
消化器内科	阿部 涼	採用（2022. 4. 1）
消化器外科	今里 美智子	採用（2022. 4. 1）
	木下 瑛貴	採用（2022. 4. 1）
整形外科	望月 宏美	退職（2022. 3. 31）
	深谷 美里	採用（2022. 4. 1）
脳神経外科	佐々木 司	退職（2022. 3. 30）
	鶴嶋 英夫	採用（2022. 4. 1）
耳鼻咽喉科	塚原 奈々	退職（2022. 3. 31）
	木内 千紘	採用（2022. 4. 1）
泌尿器科	磯田 文平	退職（2022. 3. 31）
	山崎 琢斗	退職（2022. 3. 31）
	柳橋 亮太	採用（2022. 4. 1）
麻酔科	功刀 沙也香	退職（2022. 3. 31）
歯科口腔外科	加島 義久	退職（2022. 3. 31）
	角倉 可奈子	採用（2022. 4. 1）
放射線治療センター	池田 一	退職（2022. 3. 31）
臨床研修医	石田 智己	退職（2022. 3. 31）
	内田 悠磨	退職（2022. 3. 31）
	小貫 ひかり	退職（2022. 3. 31）
	加藤 宏典	退職（2022. 3. 31）
	鎌谷 花奈	退職（2022. 3. 31）
	川地 祐輔	退職（2022. 3. 31）
	田中 真由子	退職（2022. 3. 31）
	松田 琴絵	退職（2022. 3. 31）
	池田 祥尚	退職（2022. 3. 31）
	新井 昂佑	退職（2022. 3. 31）
	児玉 達弘	採用（2022. 4. 1）
	松田 洋直	採用（2022. 4. 1）
	大曾根 礼	採用（2022. 4. 1）
	金子 真	採用（2022. 4. 1）
	亀山 嘉志人	採用（2022. 4. 1）
	小林 大輝	採用（2022. 4. 1）
	小林 裕一	採用（2022. 4. 1）
	古谷野 祐貴	採用（2022. 4. 1）
	西浦 悠人	採用（2022. 4. 1）
	松本 龍元	採用（2022. 4. 1）
吉田 淳	採用（2022. 4. 1）	